

眞鍋 はな 国際学部 国際学科 3年

東京都立杉並総合高等学校出身
2022.4 拓殖大学入学
2024.9 交換留学（エジプト）参加



ギザのピラミッド

エジプト研修報告書☆

【研修先の紹介】

私の研修先であるエジプトは古代文明の発祥地として知られており、ピラミッドやスフィンクス、ナイル川など、数多くの歴史的遺産があります。エジプトの文化は、長い歴史と深い宗教的伝統に現代的要素が加わったような独自の魅力を持っています。首都カイロは、アフリカとアラブ世界の文化・経済の中心であり、多様な歴史と文化が交差する活気ある都市です。そんな都市でアラビア語を学びながら現地の人々と交流できたことは、アラブ世界への理解を深める貴重な経験となりました。特にアラビア語の学習と現地の方々との交流をすることで、アラブ圏の文化や価値観への理解が深まり、国際的な視野を広げることができました。さらに現代のアラブ社会について学ぶとともに、古代文明や宗教にも触れる貴重な機会となりました。

また、私が訪れたカイロ大学は、1908年に設立されたエジプト最古の国立大学で、多くの学部で約20万人の学生が学んでいます。大学はカイロの中心に位置しており、学問と文化が融合した環境が大きな魅力です。

【日常生活について】

留学中の日常生活では、さまざまな文化体験や人との出会いがあり、非常に充実した時間を過ごすことができました。大学側が主催する日帰り旅行では、他学部や他大学の学生とも交流することができました。また、同じ学部の友人だけでなく、日本語学部の学生たちとも積極

的に文化交流を行い、互いの国について学び合うことができます。エジプトの文化や習慣は日本とは大きく異なり、最初は戸惑う場面もありましたが、日々の生活を通して少しずつ慣れていきました。現地の人々の温かさや親しみやすさに助けられたことも多くあります。さらに、年に2回行われる大きなお祭りの時期には、街全体がにぎやかなお祭りムードに包まれ、特別な雰囲気を楽しむことができました。

【研修を通して得たことと、その成果を今後の

学生生活や会社へどのように還元するか、について】

今回のエジプトでの研修を通して、私は気候、文化、宗教、食生活など、日本とは大きく異なる価値観や生活様式に触れることができました。最初は戸惑うこともありましたが、現地での交流や日々の生活を通じて、異文化に順応し、柔軟な視点を持つことの大切さを実感しました。この経験は、単なる知識の習得だけでなく、自分の視野を広げ、人間的にも成長できる貴重な機会となりました。今後の学生生活では、多様な価値観を理解しながら主体的に学びに取り組み、異なる背景を持つ人々と協力し合える力を養っていきたいと考えています。

また、将来社会に出た際には、この異文化理解の経験を活かし、国際的な視点を持って柔軟に対応できる人材として貢献したいです。研修で得た気づきや学びを、自分自身の強みとして社会へ還元していきたいと思えます。



ハンハリーリ市場の風景



大学主催の日帰り旅行